

あうる

Treasure every meeting as it's chance to happen is only once in a life time.

北海道歴史秘話 29

江戸時代に珍重された「蝦夷錦」。 各地に今も残る絢爛な絹織物は、 どのように蝦夷地から もたらされたのだろうか？

山丹交易

江戸時代、北方交易によってアイヌの人々の元にもたらされた絹の服や織物を「蝦夷錦」という。黄色や紺・赤の布地に金糸、銀糸で雲竜や波濤・牡丹など、いろいろな紋様を織り出して仕上げたものだ。

別名「山丹服」とも呼ばれるこの豪華絢爛な絹織物は、いつ、どのような形で蝦夷地に入ってきたのだろうか。

十八世紀から十九世紀にかけて、日本側（和人）は大陸のアムール川（黒龍江）下流域のことを「山丹」と呼んでいた。この山丹という名の起りは、ニヅフ語で「ヤント」というアムール川河口近くの場所の名が、アイヌ語を経由して「サンタ」と訛ったものといわれており、そこに住む北方のツングース系民族を、山丹人と呼んでいた。この山丹人たちは樺太にやって来て、樺太や蝦夷地のアイヌ民族と交易を行っていた。これを「山丹交易」という。

アイヌ民族は自然と共に暮らす狩猟民族のようによくいわれるが、それだけではなく、交易も活発に行っており、山丹人との交易の歴史は、十三世紀のモンゴル帝国時代の頃までさかのぼるといえる。

北のシルクロード

蝦夷錦が蝦夷地に入ってくるまでの流れを説明しよう。

当時、中国は清の時代で、清朝の役人がアムール川の中流域にあるデレンという所までやって来て臨時の役所を設け、山丹人と交易を行っていた。清朝にクロテンなど

の毛皮を貢がせる代わりに、一定の地位と絹織物や木綿、針などを褒美として与える朝貢交易だ。

デレンで清朝から絹織物を下賜された山丹人が、今度は樺太で清朝との交易品を元に樺太や蝦夷地のアイヌ民族と交易を行った。その交易で蝦夷の地に絹織物がもたらされたのだ。蝦夷地からは、クロテンやキツネなど、清朝の貴人が欲しがった毛皮が運ばれていった。デレンから宗谷岬まで、その距離およそ八〇〇キロの「北のシルクロード」であった。

蝦夷錦は清の官服

こうして清の物産がアイヌ民族に伝わり、なかでも清朝の官服が特に「蝦夷錦」と呼ばれるようになる。

江戸時代、アイヌ民族は松前藩から、道内各地に設けられた「場所」(商業の場)での不平等な交易を強いられていた。そんな

中で、アイヌの人々が手にした絹の官服が松前藩に伝わった。

当時、鎖国中であった日本では、貿易品はすべて長崎を通じて入って来るようになっていたが、ユーラシア大陸に一番近い島である蝦夷地でも、密かに独自の交易が行われていたのだ。

蝦夷錦を利用した松前藩

文禄二(一五九三)年、のちに松前藩の初代藩主となる蠣崎慶広なまき けいこうが、異国風の見事な唐衣を身に着け、肥前国の名護屋城で朝鮮出兵に備える豊臣秀吉に謁見した。秀吉は蝦夷地の島主がわざわざ九州まで会いにやってきたこと上機嫌となり、慶広に朱印状を与え、蝦夷地支配を認めた。その時に対面した徳川家康が、慶広が着ていた唐衣を欲しがったため、慶広はすぐにその場で脱ぎ、家康に差し出したという。

江戸幕府が成立してからも、松前藩は蝦

全国各地に残る蝦夷錦は、かつて北方の民族がつないだ交易の道、北のシルクロードから伝えられた遺産である。



間宮林蔵が描いたデレンの仮府(国立公文書館内閣文庫所蔵『東鞆地方紀行 中巻』より転載)

夷錦を幕府に献上している。松前藩はこれが清朝からもたらされたものにもかかわらず、その事実を隠して「蝦夷錦」と呼び、藩の存在をアピールした。松前藩は蝦夷錦を独占し、幕府への献上品あるいは諸国の大名・有力者への贈答品として、大いに活用したのである。

北辺の蝦夷地からもたらされる豪華な絹織物は、人々に当時まだ見ぬ未知の世界だった北方の世界に対するロマンと憧れを抱かせ、ブランド品「蝦夷錦」として江戸や京都で珍重されるようになった。京都の祇園祭では、今も山鉦やまかねの飾りとして二五〇年前の蝦夷錦が使われている。

北海道に残っているのは三〇点ほど

蝦夷錦の見事さは、松前藩家老で画家と

してもその名を知られる蠣崎波響なまき はなびるが寛政二(一七九〇)年にアイヌの長一二人を描いた「夷酋列像」にも見ることができるといえる。そのほかには、釧路市立博物館でも見ることができるといえる。

現在、蝦夷錦は北海道内に、反物や端切れも含めると三〇点近くが残されており、函館市北方民族資料館では常設展示されている。そのほかには、釧路市立博物館でも見ることができるといえる。

青森県にも三〇点あまりの蝦夷錦があるが、そのほとんどが寺や神社に寄進されたもので、寄進者の半数以上が松前・箱館在住者だった。今年三月に函館―青森間が新幹線で結ばれたが、津軽海峡という海があるにも関わらず、いにしえから青森と松前・函館の交流が非常に盛んだったことを、この蝦夷錦が今に伝えている。



蝦夷錦(市立函館博物館所蔵)

あつろの 杜 鈴木明彦さん

漂着物学会員・北海道教育大学教授

Interview

波が運んできた
プレゼント、漂着物。それを
拾い集める「ビーチコーミング」
が人気です。北海道教育大
教授で漂着物学会会員の
鈴木さんが化石や漂着物
を語ります。

子どもの頃から石ころが好き

出身は岐阜県の瑞浪市という化石で有名なまちです。昔から化石や鉱物に興味がありました。信州大学に進学して、地質学を専攻しました。たまたま叔父が北海道大学農学部助手をしていて、「北大は古生物の分野ではすごく伝統のある所だから、ここで勉強するといんじゃないか」と薦められ、北大大学院へ進学しました。

大学院では貝の化石の研究を行いました。道南の黒松内、瀬棚、今金周辺に百万年ぐらゐ前の保存の良い貝の化石を含む地層がありまして、ここを五年間調査研究して、博士号を取りました。

北大研究員のあと、三〇歳の時に北海道教育大学岩見沢校に就職しました。一七年ほど岩見沢にいましたが、大学が改組となり、二〇〇八年に札幌に移動しました。

貝の化石を研究

専門は古生物学です。いわゆる

海岸に流れ着く 漂着物が 面白い!



鈴木明彦
すずき あきひこ

北海道教育大学札幌校教授。理学博士。専門分野は地質学、古生物学、漂着物の自然誌学。北海道付近に生息する親潮動物群の起源と移動を明らかにするため、北海道の新生界の海成層から産出する化石動物群の群集解析を行っている。また、軟体動物はじめベントスの化石化プロセスを解明する目的で、浅海域における現生・化石遺骸群集をタフノミー的視点から検討している。1997年に第2回黒松内賞(黒松内町自然科学奨励事業)、2012年に第40回札幌文化奨励賞を受賞。著書に『北海道の漂着物ービーチコーミングガイド』、共著に『漂着物考ー浜辺のミュージアム』などがある。日本貝類学会・日本古生物学会・日本地質学会・漂着物学会などに所属。



化石の研究で、研究対象は新生代第四紀という時代。東アフリカに人類が出てきた時代に、北海道の海に棲んでいた貝を研究してきました。古生物が化石となって出てくることは稀なことですし、石になっていきますから、例えば軟体部はかなり数も少ないので、化石から当時の生態を探るのは難しいので

北海道は海岸に流れ着く漂着物が面白い地域です。南の方ではなかなか浮き玉は拾えないのですが、

北の海辺の漂着物

す。だからどうしたら化石になるのか、化石からどういう情報を読み取ることができているのか、今生きているものと比較研究し、化石の生態を調べています。

そのため全国の大学臨海実験所などを利用し、四七都道府県の海岸を歩いていきます。貝殻は炭酸カルシウムで、それが化石になって残ります。貝殻の同位体分析で当時の水温が分かっていたりするので、そういう研究も行いました。

北海道だとまだ使っていたりするので、台風などで気が荒れたあとに打ちあがるんです。北洋漁業が盛んな頃の浮き玉も流れ着いたりします。北海道に来る方はそういうものを拾いたいようです。

石狩、望来、厚田はいろいろなのが打ち上がります。望来は、崖の所に化石があります。この前も先生方の免許更新講習があつてそこに連れて行ったんですが、採る方は二〇個ぐらゐの化石を採り、近場にこんな所があるんですねと驚いていました。

北の方ですと、羽幌、留萌、小平辺りがいいですね。こういう所は人が少ないので浮き玉がゴロっと転がっています。また小平の鯨番屋の前は崖になっており、珪化木(植物の化石)が見つかったりします。

石狩浜では石炭や軽石も拾えます。石炭は石狩川が三笠とか夕張辺りから運んできたものだと思います。軽石は札幌市南区の札幌軟石が豊平川で削られて、石狩川に入ったものが流れ着きます。望来にはメノウがあります。厚田やその北に火山岩があるんですが、その中にメノウの脈が入っていて、それが海の波で削られ、沿岸流によって運ばれてきます。沿岸流は潮の流れが沖合に行ったり横に動

いたりするので、遊泳禁止になっていますが、そういう所にはいろいろな物が流れ着きます。

海岸で最もよく見つかる漂着物はやはり貝殻。対馬暖流に乗って南からアオイガイもたどり着きます。動物ではクジラとかアザラシ、イルカ、トドなど。ほかにキタキツネ、エゾシカなども打ち上がりましたね。オホーツク海沿岸は漂着物が少ないんです。稚内から斜里の方まで、凸凹がなく直線的な海岸なので、そのまま通り過ぎてしまふようです。日本海がいいというのは、積丹半島が出っ張つたりして、岬で流れが変わるから。石狩も、石狩川の河口に砂嘴があります。漂着物のメッカになっています。必ず岬や砂嘴・砂州のある地形の変化した所ですね。

漂着物学会と企画テーマ展

漂着物学会の大会は二〇〇一年に設立されて以来、今年で一六回目になります。二〇一六年一〇月には一〇年ぶりに北海道で開催されます。それに合わせて一〇月一四日から一二月二七日まで、北海道博物館で漂着物の企画テーマ展が行われます。先日出版した漂着物の本は写真が多いので、図録代わりに活用していただけるのではと思っています。

「すみません」

今回のオリピックで話題になったのは、メダルを取ったにもかかわらずそれが金ではなかったために、「銀ですみません」「銅ですみません」と謝る選手が数多く出たことでした。

江戸時代、江戸っ子のモットーは、気持ちをいつも澄み切った水のように持つこと。ですから気持ちが濁って澄まないことに対して「すみません」と思い、清く澄んだ心になれなかったことを詫言るときに「すまねえ」「あすいやせん」と言ったのが、この言葉の始まりです。

そして現代。なんとこの「すみません」が、ホテルやレストランでは使用禁止用語の筆頭に挙げられているのです。例えばあるレストランチェーンの接客マニュアルには「すみません」は使ってほしくない言葉であり、「申し訳ございません」と言ってほしい、と書かれています。ついでにこのマニュアルに載っている、使ってほしくない言葉をいくつか紹介しましょう。カッコ内が使ってほしい言葉です。

「できません」(いたしかねます)、「分かりました」(かしこまりました)、「そうです」(さようでございます)、「知りません」(存じません)、「ごです」(結構でございます)。

江戸時代から現代になり、下から上に向かって礼を言うときや女性同士が会話するときに重宝な言葉として使われるようになった「すみません」。あまりにも使われ過ぎていたために、軽くて陳腐な心が伝わらない言葉とみなされ、接客業の世界では禁句の代表格になってしまったようです。

言葉も頻繁に使われると、衣服や食器と同じようにだんだん古びてきて、使いにくくなるのかもしれないね。

O W L I N F O R M A T I O N

漂着物ってどんなもの?

きれい?不思議?楽しい?漂着物
北の海辺でお宝みつけ!
10月14日(金)~11月27日(日)
9:30~16:30(入場は16:00まで)
北海道博物館(札幌市厚別区厚別町小野幌53-2)
休館日/月曜日 観覧無料

海辺に流れ着く漂着物は、想像力をかき立てる海からの不思議な贈り物です。北海道博物館では漂着物学会の開催を機に、企画テーマ展を展開。11月には関連事業として文化の日講演会「漂着するクジラを追って」(3日、国立科学博物館・山田格氏)、ちゃれんが講座「文書のなかの『漂着』をたどる」(20日)が実施されます。いずれも無料、要申込(先着順)です。



講演・講座の申込は専用ダイヤル TEL.011-898-0500まで 受付開始は講演会10/4、講座10/21

みやげ物から郷土史を解く

矢島さとしのまるごと北海道みやげの歴史
矢島善・著
定価:本体1,200円+税

蝦夷地と呼ばれた松前藩の時代から、全国に特産品を送り出してきた北海道。今も人々に愛される各地の郷土みやげは、地域の歴史の証人でもあります。著者はその中から総数71点を民俗学研究の視点で解説。銘菓、水産・農産加工品、木工・民芸品と、「みやげ」に込められた郷土史を紐解きます。最終章は「歴史」として北海道みやげの発生と広まりを概観。巻末には平成のお菓子リストが付いています。



中西出版 A5判、175頁 2016年8月刊行

営業マンにおくる60のヒント

ホテル営業マンのセールス60カ条
伊東康博・著
定価:本体1,200円+税

43年間にわたりホテル業界に身を置いた著者が、宴会販売の長い経験で培ったセールスのノウハウを伝授。実際の場面での具体例を紹介しながら、著者が「一般常識・社会常識・マナー」と両輪として考える「セールスマンとして当たり前のこと」の中から、厳選した60項目の「大切なこと」を掲載しています。ホテル業界はもちろん、幅広い分野で活躍中の営業マンが、さらに輝くためのヒントが満載の一冊です。



中西出版 四六判、178頁 2016年9月刊行

人口減少社会の若者の意識とは?

若者の「地域」志向とソーシャル・キャピタル
道内高校生1,755人の意識調査から
梶井祥子・編著
定価:本体1,800円+税

全国に先駆け人口減少が加速する北海道。北海道各地の高校11校で実施した「若者と地域のつながり」に関するアンケート調査とヒアリングの結果から、高校生の進路意向や地域への思いを分析。社会学、経済学、経営学、キャリア教育学、国際広報メディア学の研究者が、それぞれの立場から「若者と地域のつながり」をソーシャル・キャピタルの視点で考察し、その潜在力を探ります。



中西出版 A5判、259頁 2016年10月刊行

これがほんものの生徒指導

生徒指導の危機
子どもはかけがえのない存在
保坂武道・著
定価:本体1,600円+税(電子書籍版は1,400円+税)

現在の「生徒指導提要」は、「自己指導力」と「社会的なリテラシー」の育成がねらいとされ、生徒指導にも新たな対応が求められています。本書では50年以上にわたる学校現場での実践から、「学校教育目標の具現化構想試案」を独自に作成。各領域での生徒指導の機能と関わり方を整理しました。さらに不登校・いじめの流れや対応などを詳述。教育カウンセリングを基にした積極的な生徒指導を提示します。



中西出版 A5判、232頁 2016年6月刊行 ※電子書籍の価格は希望小売価格

虚構と現実を逍遙する個人誌

逍遙通信
第1号
澤田展人・編
価格:215円(送料として)

「書くという営み、人に読んでもらうという営みを通して、生きることの豊かさを目指したいという思いから、小さな雑誌を発行することにした。」今夏、北海道文学館理事の澤田展人氏が編集人を務める個人誌が創刊されました。第1号にはいずれも札幌で高校時代を過ごした、ジャーナリストの外間秀俊、小説家の久間十義両氏のエッセイと澤田氏の創作を掲載。情報の氾濫の中での、虚実の境を歩く旅のはじまりです。



逍遙通信刊行会(自費出版) A5判、102頁 2016年8月刊行 (問い合わせは 011-842-8070澤田まで)



先頃、アマゾンの「Kindle Unlimited」サービスに関するトラブルが報道された。8月に開始された電子書籍の「定額読み放題」サービスは、想定外のダウンロード数となり出版社への支払い額がふくらんだためか、同社は僅か1ヵ月で売れ筋のタイトルをリストから削除した。それに抗議した出版社の他のタイトルも削除し、今や複数の出版社を巻き込んだ事態となっている。当該出版社との契約内容は不明だが、驚きの対応と言わざるを得ない。しかし、世間の皆様からは、同社の一人勝ちとも言える状況を作り出してしまった、我が出版業界のふがいなさを、クールに見つめられているのかもしれない。(Y)

発行・編集 / 中西出版(株)
〒007-0823 札幌市東区東雁来3条1丁目1-14
電話011-785-0737 FAX011-781-7516
E-mail: owl@nakanishi-shuppan.co.jp
発行責任者 / 林下英二
発行日 / 2016年10月25日



http://nakanishi-shuppan.co.jp